

ハートフルかみす

世界を舞台に!ドローンレーサー



手話でコミュニケーション



- 手話言語でコミュニケーション P2・3
- 輝くひと ドローンレーサー P4・5
- ハートフルかみすのあゆみ P6
- 男女共同参画セミナー「落語で学ぼう!」を開催しました ... P7
- ピーマンタイム P8



「ハートフルかみす」は、市民の編集委員によって作成される男女共同参画社会を目指すための情報誌です。

手話言語で

コミュニケーション



「こんにちは」

条例が施行されたことで変化はありましたか。

条例施行後、小学生への手話教室や、市の職員への手話研修をおこなうなど、大きな変化がありました。また、手話奉仕員の講座も増え、手話の勉強をする人も増えています。

高木さんのことを教えてください。

私は生まれつき耳が聞こえず、幼稚園から高等部まで県立水戸聾学校に通い、手話で育ちました。高等部を出てろう者の専門学校「筑波大学附属聾学校高等部専攻科歯科技工科」(現在、筑波大学附属聴覚特別支援学校)で学び、卒業後、病院で働いています。最初は仕事をする中で、コミュニケーションが取りづらく苦労しましたが、今では手話などへの理解が進み、会話ができるようになり、言いたいことを伝え、十分なコミュニケーションがとれるようになりました。

災害時に苦労があったそうですね。

東日本大震災の時、私は仕事に行けず、自宅待機するしかありませんでした。視覚情報が無いので、余震が発生するたびに、ただジーンとしているだけで、すぐに避難行動がとれませんでした。また、避難所では、ろう者に向けた案内表示がなく苦労しました。ろ

茨城県聴覚障害者協会理事、鹿行聴覚障害者協会会長の高木茂晴さんにお話を伺いました。



高木茂晴さん

鹿行聴覚障害者協会(以下協会)は、昭和46年に設立し、私は、平成21年から第6代目の会長を務めております。協会の活動内容は、交流を目的としたイベント、茨城県聴覚障害者大会、3月3日の「耳の日」に合わせた行事などもあります。

どのような手話の普及活動をおこなっていますか。

神栖市手話言語の普及に関する条例

(以下条例)が、令和6年12月20日に施行されました。鹿行地区では神栖市をはじめ2市で施行されており、他の市への手話言語に関する条例制定へ向けた活動を進めています。

手話の普及活動として、鹿行手話奉仕員養成講座、神栖市内の小学校での手話教室などがあり、放課後児童クラブの夏休みには、福祉体験の学習などもおこなっています。

今年は、東京2025デフリンピックが開催されます。「聞こえない人と聞こえる人が、一緒に、共生社会を目指す」がコンセプトです。

県内でも、公共施設や道の駅でイベントをおこない、啓発活動をしています。

日常の大変なことから思うことはありますか。

まず、テレビです。皆さんは音でも情報を得ることができますが、私たちは、字幕と画像だけでは情報が得ることができません。

さまざまな活動の参加にはサポートが必要であり、外出先では十分なやり

取りができず、不安になることが多くあります。手話が必要とする人が職場にいる場合は、会社が手話を学ぶ環境を整えてもらえると助かります。聴者との筆談によるミーティングで、文章でまとめて書いてもらうことがありますが、本当にこの情報だけなのかと不安になります。すべての内容を完全に伝えてもらえれば、聴者とうろ者が同じように仕事を進めることができ、仕事が円滑に進められます。

さまざまな状況で、通訳者がいてくれたらと感じます。現状は、通訳者の高齢化による減少の問題があります。そのためには、若い通訳者を増やすことが必要で、重要なことです。

私たちは今まで電話が利用できませんでしたが、今は、「※電話リレーサービス」、「電話遠隔サービス」などがあり、手話通訳者のオペレーターを介して会話をするシステムで、会話が円滑に進められるようになりました。

※電話リレーサービスとは、通訳オペレーターが、「手話」または「文字」「音声」を通訳することにより、電話で即時双方向につながるサービスです

う者と聴者では情報を得る速さ、量が大きく違います。手話のできる方が一目で分かるような服装などの工夫や、防災無線などの情報が私たちにも伝わる方法を考えてもらえればと思います。

※神栖市では、ホームページや広報かみすのほか、メールマガジンや公式LINEでも行政情報をお知らせしています。登録していただくと、メールマガジンでは、緊急災害情報、防災行政無線情報、行政情報などを、皆さんの携帯電話やパソコンに発信しています。

これからの活動の目標、願いはありますか。

神栖市で条例が制定されたことをきっかけに、今後は幼稚園児から高校生まで、手話の言語教育に力を入れていき、手話通訳を目指す人が増えるようにしていきたいと考えています。

手話は言語なので、園児、小学生、



中学生にも勉強してほしいです。授業内容に手話が加わってくれたらうれしいです。

また、病院、消防署、警察署などで

も手話教室を開催していきたいと思えます。ろう者の社会参加の場を広げ、ろう者、聴者が共に支え合い、誰もが生き生きと安心して暮らせる神栖市に

していきたいです。

高木さんのより一層のご活躍を心から願っています。

神栖市には2つの手話サークルがあります

手話シュワ



会場＝神栖市保健・福祉会館
開催＝月2回
第2水曜日(13時～15時)
第4水曜日(19時～21時)

手話シュワは、

令和7年4月に、

「初心者向けの手話サークルがないよね」という話から、昼の部は主婦などを対象に、夜の部は仕事をしている方を対象とした時間設定をし、立ち上げました。初心者向けの手話

サークルなので、子どもも受講しており、市の花植えなどのボランティア活動にも参加しています。ろう者から楽しく手話を学び、聴者と集い、交流・情報交換の場とすることが目的のサークルです。

まずサークルで交流していただいて、その後、手話通訳者や手話通訳士を目指す人が増えることで、聞こえない人がスムーズに、社会に参加できる場所が広まっていくことを願っています。

「子どもが手話を学ぶことで、思いやり溢れる社会につながっていくことを願っています。」

神栖市手話サークル虹の会



会場＝神栖市保健・福祉会館
開催＝月2回
第1・3土曜日(14時～16時)

神栖市手話サークル虹の会は、昭和46年4月に立ち上げました。

活動内容としては、前回の開催日から2週間の間にあった出来事を、一人ずつ手話で発表していきます。皆さんと共感しながら、会員同士が和気あいあいと学習しています。手話だけでなく、体の動き、表情など、視覚を使って会話を楽しんでいます。また、他のサークルと交流するために、出かける研修会もしています。

虹の会は、聴者とろう者の垣根を越えて、虹の架け橋として活動をしています。

「これからも手話をたくさんの方に知ってもらい、共生社会の実現と理解と交流を深めてください。」



「ありがとう」

輝くひと

世界を舞台に!!

ドローンレーサー 犬飼彩咲さん

生活の中で、ドローンは身近な存在になりました。農業散布、災害調査、報道現場や趣味での空撮など。その中にドローンレースという分野があります。現在のプロのドローンレーサーとして活躍中の犬飼彩咲さんにお話を伺いました。



犬飼彩咲さん

●ドローンを始めたきっかけは何ですか？

きっかけは5年生の時、父が買ってくれたおもちゃのドローンでした。父もドローンレーサーなので、小学生の

頃からレースを観戦し、影響を受けてきました。

●競技内容について

重さ約500グラム程度のドローン

に搭載されているカメラの映像を、専用のFPV^{*}ゴーグルで受信し、決められたルートをできるだけ速く飛ばします。コースには旗やゲートが設置されていて、時速200キロメートルくらいのスピードでそれをくぐりながら飛行するのですが、ゴーグルをつけるとまるで自分がドローンに乗っているような感覚があります！

※FPVゴーグル：操縦者がドローンからの視点で操縦する方式



FPVゴーグルを装着した彩咲さん

●レース人口について

日本のドローンレース人口は1000人から2000人といわれており、日本のクラシカルなレースリーグであるジャパンドローンリーグに登録されている選手は300人程度とされています。そのうち女性はまだ1割程度です。

※ジャパンドローンリーグ 年間全7戦（4月～10月）。令和7年開幕戦は鹿嶋市で開催されました

●苦労したことは？

日本トップ15人の最上位のプロクラスに入るため、シーズン中は遊びに行くことなく、休みのほとんどを練習に費やしました。

それでも本番当日にすごく緊張してしまい、練習の成果をなかなか出しきれませんでした。

●嬉しかったことは？

レースの時に、自分より年上の男性から「彩咲ちゃんみたいに速く飛ばせるように頑張りたいです」と言われたことです。

●彩咲さんへ質問！

Qドローンの飛行映像を見ると、酔った感じになるのですが、彩咲さんはそういう感覚はありましたか？
A最初は全然酔いませんでしたが、最近は自分とは違う、癖のある飛ばし方をしている選手のフライトを見ると、酔ったかもと感じる時があります。自分で操縦している時は酔いません。

乗り物酔いと同じで、機体の動きと自分の体の動きが一致しない場合、酔いやすくなるそうです。

●自分らしく活躍するために

自分の得意なSNSを通じ、たくさんの人たちとコミュニケーションを取りたいと思っています。海外のレースにも参加しており、ワールドカップに出た時に、子どもに「コップンカー」とずっと話しかけられたのですが、意味が全然わかりませんでした。タイ語で「ありがとう」という意味でした！このような体験もあり、英語だけでなく、中国語、韓国語も勉強しています。

●これからの目標は

日本代表になってW杯や世界大会に出場し、活躍することが目標です！今年、昨年出場できなかったサウジアラビアの招待レースやヨーロッパなどさまざまな国で行われるレースにも参加する予定です。

●ドローンをやってみたい人へ・・・

操作が難しく大変なところもありますが、頑張れば頑張った分、結果が出る喜びがあります。ドローンレースに興味を持ってくださった方、まずは



レースを観戦してみませんか！



ドローンは年齢や性別に関係なく誰でも飛ばすことができます

現在、プロのドローンレースチームSNW代表を務めるお父さんの犬飼豊紀さん。もともとは電気の仕事をしていて、仕事でドローンが使えないかと始めたのがきっかけだそうです。

「チーム名の由来は、土曜日の夜に練習しようということでサタデーナイトウーパーズ(SNW)。ウーパーズには「ドローンを楽しむ人」という意味があります。弟と二人で平成29年にス

タートしました。

今は100パーセント、ドローンが仕事です。人が入れないような危ないところ、例えば陥没事故現場の撮影や、石油プラント工場の検査をしています。

それらの撮影には高度な操縦技術が必要で、パイロットを育成する活動もしています。おもちゃのドローン(100グラム以内)は、Wi-Fiの電波を使っているので免許は要らないのですが、映像を電波で飛ばして操作するには、アマチュア無線4級という国家資格が必要です。

自分たちのチームは強い選手だけを集めている訳ではなく、育成していることが特色です。メンバーは8歳から70歳と幅広く、指と目の動きだけで操れます。

例えば左手が不自由で、右手で操作してレースに出ている方もいらっしゃいます。ほかにはゲームばかりで不登校だった子どもが、ドローンをきっかけにコミュニケーションがとれて、学



犬飼豊紀さん

校に行けるようになったケースもあります。

年齢や性別に関係なく、同じレースに参加して競うことができます。トップ選手に勝つというのは、ほかの競技では難しいですが、ドローンでは叶います。」

ドローン大国として注目されている国は、トルコ、中国、アメリカ、イスラエル、インドなど。



今年の春に高校を卒業された彩咲さん。その翌月4月14日に、念願だった日本トップ15の最上位のプロクラスに入るとい目標を達成しました！お父さんの豊紀さんや叔父さんとはライバル関係になるそうです、今後の活躍が楽しみです。

これからもドローンパイロット彩咲さんを応援しています。

平成11年6月23日に、男女共同参画社会基本法が施行されました。男性と女性が、同じように活躍できる社会を実現するために、国や地方自治体、国民が、何をすべきかを定めた法律です。ハートフルかみすは、平成18年3月から年3回発行されました。

「ハートフルインタビュー」では時の人を取材し、「輝く男女達(ひとたち)」(現在は「輝くひと」)では輝いている女性を多く取り上げました。(現在は年2回発行)



今年、市制20周年を迎え44号を発行するにあたり、以前活躍されていた編集委員の方にお話を伺いました。

ハートフルでの30年いざなび！

ハートフルの編集委員をさせていただき、とても勉強となり、良い思い出をつくることができました。特にハートフルな方たち「輝くひと」の取材を通して、たくさんさんの素敵な出会いを体験できました。

また、男女共同参画について、専門用語など知らないことがたくさんありましたが、共に編集委員だった方たちに助けていただきながら、楽しい企画、編集、校正などができました。感謝です。ありがとうございました。

平島幸子

男女共同参画情報誌創刊の喜び！

平成17年8月1日、旧波崎町と神栖町が合併し神栖市が誕生しました。

その年の暮れ、委員みんなで話し合い、「やさしさあふれるまち(神栖市)に！」との思いを込め「ハートフルかみす」と名前が決まり、創刊号(平成18年3月)に向けて編集の活動がスタートしました。

男女共同参画社会基本法施行から6年、神栖市誕生から6カ月。「私たちの思いを私たちの言葉で発信できる！」その編集に携われることにやりがいを感じて、ハートフルというよりパワフルでした(笑)。

企画を通し、多くの男女(ひと)に出会い、素敵な仲間たちと作業できたことが最高の思い出です。編集委員の皆様、市民協働課の皆様、声を寄せてくださった読者の皆様、ありがとうございました。

志水英子

法律が施行されてから、26年が経ちましたが、社会は変わったのでしょうか？

女性の社会進出

男性の育児休業

女性の管理職登用

読者の声

皆さんから頂いた前号のハートフルかみすの感想を紹介いたします。

●デジタルフォト

コンテストの子どもの写真にほっこりです。みんな素敵ですね。

●犬を守ったり、子どもたちを楽しませたりなど、いろんな仕事で安全や暮らしを大切にしているのがすごいと思いました。

●女性活躍の取り組みに力を入れてい



バックナンバーはこちら

る地元企業があることを知り、興味深く思った。

●毎回、さまざまな立場の人を取材していただき、こんな方もいるのだなと感心しています。「ハートフルかみす」をもっとたくさんさんの市民が読んで理解を深めていくことで、社会が少しずつよい方向に変わっていくことと思います。

●「ピーマンタイム」というコーナー名がTHE神栖！という感じで目を引くので良いなあと思います。

●女性が大きいフォークリフトを運転しているのは、とてもかっこよくて素敵です。会社側も女性が働きやすい環境を作ってくれるのはいいなと思います。これから先、女性が働きやすい環境が増えたらいいなと思います。神栖で犬や猫が多く保護されていることに驚きました。ペットの防災の記事では、クレートに入る練習も大切だと改めて思いました。避難所でペットと一緒にいられる所が増えてほしいです。保護犬や保護猫たちに新しい家族ができることを願っています。



落語で学ぼう！ ダイバーシティ＆ アンコンシャス・バイアス

講師：柳家三之助師匠(神栖市PR大使)

令和7年7月26日

平泉コミュニティセンター 多目的ホール

性別や年齢、無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)にとらわれず、誰もが自分らしく生きられる社会を落語で楽しく学ぶセミナーをおこない、157名の方が参加しました。

【参加者の声】

- 初めてこのようなセミナーに参加しました。楽しい時間をありがとうございました。
- 初めて噺家の話を聞いて面白くもあり、勉強になりました。
- 「なんでもいいんだよ」の言葉の深さを考えさせられました。



神栖市女性団体連絡会 活動報告

神栖市女性団体連絡会では、男女共同参画社会の実現を目指したまちづくりや女性の地位向上、地域社会の発展のために活躍しており、リサイクルやSDGsを女性の視点から考える活動をおこなっています。

今年は、6月9日に、市内で環境保全対策や社員協働の取り組みをしている企業にご協力をいただき、自然活動や環境教育活動について、見学し勉強してきました。

6月16日には、連絡会に所属している団体が協力して、タオルや靴下、おむつなどを集めました。集まった衣類は、受け入れ可能な市内の障害者施設へ寄付し、活動支援に役立てていただきました。今後も、各女性団体で実践できるものについて検討し、男女共同参画社会の実現につなげられるように、引き続き活動していきます。





ちよこっと休憩!

ピーマンタイム

クロスワード

1	F	2		3	4	A	5
6			7	D			
8		9		10			
		11				12	B
	13			14	15		
16	E			17		18	
19			20		C		

ヨコのヒント

- 知識を問う問題が出題されます。〇〇〇番組。
- 果物の香りと甘みをたっぷり感じられる〇〇〇酒。
- 体を支え、歩行の助けとするために用いる道具。
- 山などで、上から石が落ちること。
- 昔はチョッキ。今は〇〇〇やジレ。
- どんぐりの仲間、食べられる〇〇の実。
- 「衣服」「着るもの」という意味で使われます。英語のカタカナ表記です。
- お正月の遊び。こままわし、はねつき、〇〇あげ。
- 35代アメリカ大統領のファーストネームです。
- 魚の稚魚をシラスといいますがこの魚は成魚です。よく間違われます。
- 草や稲を〇〇。
- 山梨県原産の犬の品種で日本犬の一種。〇〇犬。
- 商品が国境を越える際に課される税金のことです。

タテのヒント

- 靴を履きやすいようにかかどにあてるヘラのこと。
- 回答は〇〇〇かノーでお答えください。
- 料理の風味を引き立てるために、ごく少量加える調味料や食材のこと。
- 自分の感情や欲求をコントロールする能力のこと。〇〇〇心。
- 地球の衛星。見かけの形が変化し、新月・上弦・満月・下弦を繰り返す。
- 授業を受けるために学校へ行くこと。帰りは下校といえます。
- 種類別に分けること。共通のものをまとめること。
- 夜に吹く風のこと。暑い日の〇〇〇〇は心地よく感じられます。
- 鹿島アントラーズのマスコットは、鹿島神宮の〇〇〇。
- 山ほどではなく傾斜が比較的穏やかな地形のことです。

答え

A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---

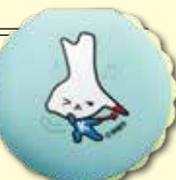
ヒント：令和7年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ「誰でも、どこでも、〇〇〇〇〇〇」

正解者全員に オリジナルマカロンふせんを プレゼント

引換方法=任意の用紙(どんな用紙でもかまいません)に①~③を記入し、
市民協働課(本庁2階)へ**持参**
応募は、おひとりさま1回まで

- ①答え
- ②ハートフルかみすの感想や意見
- ③氏名

引換期間=11月28日(金)まで



応募
待ってるね!



©神栖市

編集委員

●柴田委員

●伊藤委員

●遠藤委員

